

令和6年5月28日
気象庁

地方海上予報XMLの解説

全体構成

タグ	解説
Report	
└Control	管理部。
├Title	“地方海上予報”又は“地方海上予報(H28)”と記述する。
├DateTime	発表時刻を“2008-08-29T00:10:00Z”のように協定世界時で記述する。未来時刻にはならない。
├Status	運用状況を“通常”、“訓練”、“試験”のいずれかで記述する。
├EditorialOffice	“札幌管区気象台”、“仙台管区気象台”のように地方海上予報警報の海域に応じた官署名を記述する。ただし、本庁予報課の場合、“気象庁本庁”と記述する。
└PublishingOffice	“札幌管区気象台”、“仙台管区気象台”のように地方海上予報警報を発表する官署名を記述する。ただし、本庁予報課の場合、“気象庁”と記述する。
└Head	ヘッダ部。Headの詳細を参照。
└Body	内容部。Bodyの詳細を参照。

Head の詳細

タグ	解説
Head	
└Title	地方海上予報の海域に応じて、“札幌海上気象”、“仙台海上気象”、“東京海上気象”のように記述する。
└ReportDateTime	本情報の公式な発表時刻を“2008-08-29T00:10:00+09:00”のように日本標準時で記述する。
└TargetDateTime	本情報の対象となる基点時刻を“2008-08-29T00:10:00+09:00”のように日本標準時で記述する。
└TargetDuration	本情報の対象期間を、TargetDateTime からの日数及び時間数で示す。日数は P に続けて、時間数は T に続けて記述する。P1DT17H の場合、TargetDateTime から 1 日と 17 時間先までの予報であることを意味する。
└EventID	値は記述しない(空タグとする)。
└InfoType	“発表”、“訂正”、“遅延”のいずれかを記述する。
└Serial	値は記述しない(空タグとする)。
└InfoKind	“地方海上予報”と記述する。
└InfoKindVersion	スキーマの運用種別情報のバージョンを記述する。本解説のバージョン番号は、/Control/Title=“地方海上予報”の場合は“1.0_0”、/Control/Title=“地方海上予報(H28)”の場合は“1.0_1”又は“1.0_2”。
└Headline	見出し要素。防災気象情報事項となる見出し要素を示す。
└ Text	見出し文。地方海上予報では値は記述しない(空タグとする)。

Body の詳細

タグ	解説
Body	
└Warning	地方海上警報予報区に対する海上警報の発表状況を記述する。
└@type	“地方海上警報発表状況”と記述する。
└Item	
└Kind	
└Name	“海上濃霧警報”のような海上警報名を記述する。ただし、海上警報が発表されていない場合は要素を省略する。
└Code	“22”(海上暴風警報のコード番号)のように海上警報名に対応する海上警報コード番号を記述する。ただし、海上警報が発表されていない場合は要素を省略する。
└Status	通常は要素を省略する。海上警報が発表されていない場合、“海上警報なし”と記述する。
└Area	地方海上予報区を記述する。
└Name	“四国沖南部”のように海上警報の発表状況を示す地方海上予報区名を記述する。
└Code	“4030”のように地方海上予報区名に対応する地方海上予報区コード番号を記述する。
└MeteorologicalInfos	
└@type	<p>“気象要因”、“観測実況”、“地方海域の予報”のいずれかを記述する。それぞれ、</p> <ul style="list-style-type: none"> /MeteorologicalInfos@type = “気象要因” /MeteorologicalInfos@type = “観測実況” /MeteorologicalInfos@type = “地方海域の予報” <p>の詳細を参照。</p>

/MeteorologicalInfos@type = “気象要因”の詳細

タグ	解説
MeteorologicalInfos	概況事項を記述する。
└@type	“気象要因”と記述する。
└MeteorologicalInfo	概況を記述する。
└└DateTime	観測時刻を“2008-08-13T06:00:00+09:00”のように日本標準時で記述する。時値まで有効である。
└└Name	観測日時を“13日06時”のように記述する。
└└└Item	
└└└└Kind	
└└└└└└Property	概況の内容を記述する。
└└└└└└└Type	“概況”と記述する。
└└└└└└└└SynopsisPart	じょう乱など、警報の要因となっている事項を記述する。
└└└└└└└└└jmx_eb:Synopsis	台風や低気圧などのじょう乱の諸元、前線、あるいは“所々濃霧が発生している”、“気圧の傾きが急になっている”などのように、概況の平文を記述する。概況がない場合は値(平文)を記述しない(「空タグ」とする)。
└└└└└└└└└└@type	“気象要因”と記述する。
└└└Area	地方海上予報区を記述する。
└└└└Name	“四国沖北部”のように概況の対象とする地方海上予報区名を記述する。
└└└└└Code	“4030”のように地方海上予報区名に対応する地方海上予報区コード番号を記述する。

/MeteorologicalInfos@type = “観測実況”の詳細

タグ	解説
MeteorologicalInfos	地上気象観測の観測実況を記述する。
└@type	“観測実況”と記述する。
└MeteorologicalInfo	観測実況を記述する。
└DateTime	地上気象観測の観測時刻を“2008-08-13T06:00:00+09:00”のように日本標準時で記述する。分値まで有効である。
└Name	“13日06時”のように観測時刻を記述する。
└Item	
└Kind	
└└Condition	観測値の状態に応じて“通常”、“欠測あり”、“入電なし”のいずれかを記述する。 “欠測あり”は、観測要素の一部が不明、欠測となっている場合に記述する。 “入電なし”は、観測要素のすべてが不明、欠測となっている場合に記述する。
└└Property	地上気象観測の観測要素を個別に記述する。なお、/Conditionが“入電なし”のときは、すべての観測要素の記述を省略する。
└└└Type	観測要素について“風”、“天気”、“気圧”、“気温”、“視程”のいずれかを記述する。
└└└WindDirectionPart	/Property/Type = “風”のとき、WindSpeedPartと併せて記述する。
└└└└jmx_eb:WindDirection	風向の観測値を“北西”のように記述する。風向不明のときは値を記述しない(「空タグ」とする)。
└└└└└@type	“風向”と記述する。
└└└└└@unit	“16方位漢字”と記述する。

			└@condition	観測値を記述するときは省略する。静穏または風向が不定、不明のときは、それぞれ“静穏”、“不定”、“不明”と記述する。
			└@description	観測値を記述するときは省略する。静穏または風向が不定、不明のときは、それぞれ“静穏”、“風向不定”、“風向不明”と記述する。
			└WindSpeedPart	/Property/Type = “風”のとき、WindDirectionPart と併せて記述する。
			└jmx_eb:WindSpeed	風速の観測値を“3”のように記述する。風速不明のときは値を記述しない(「空タグ」とする)。なお、風向が“静穏”のときは風速は“0”となる。
			└@type	“風速”と記述する。
			└@unit	単位を“ノット”と記述する。
			└@condition	観測値を記述するときは省略する。風速が不明のときは“不明”と記述する。
			└@description	観測値の風速を“3ノット”のように記述する。風速が不明のときは“風速不明”と記述する。
			└WeatherPart	/Property/Type = “天気”のとき記述する。
			└jmx_eb:Weather	天気の観測値を“晴”のように記述する。天気が不明のときは値を記述しない(「空タグ」とする)。
			└@type	“天気”と記述する。
			└@condition	観測値を記述するときは省略する。天気が不明のときは“不明”と記述する。
			└@description	観測値を記述するときは省略する。天気が不明のときは“天気不明”と記述する。
			└PressurePart	/Property/Type = “気圧”のとき記述する。
			└jmx_eb:Pressure	気圧の観測値を“1022”のように記述する。気圧が不明のときは値を記述しない(「空タグ」とする)。
			└@type	“気圧”と記述する。
			└@unit	単位を“hPa”と記述する。
			└@condition	観測値を記述するときは省略する。気圧が不明のときは“不明”と記述する。

/MeteorologicalInfos@type = “地方海域の予報”の詳細

タグ	解説
MeteorologicalInfos	地方海上予報区毎の地方海上予報を記述する。
└@type	“地方海域の予報”と記述する。
└MeteorologicalInfo	地方海上予報を記述する。
└└DateTime	予報の基点時刻を“2008-08-29T19:00:00+09:00”のように日本標準時で記述する。
└└Duration	予報期間の長さを日数及び時間数で示す。日数は P に続けて、時間数は T に続けて記述する。P1DT17H の場合、1 日と 17 時間の予報であることを意味する。Date Time と Duration の組み合わせにより MeteorologicalInfo の示す期間は、文章形式では Name 値により期間を示す。
└└Name	“今日から明日”のように予報期間をかな漢字で記述する。
└└Item	
└└└Kind	
└└└└Property	地方海上予報の内容を記述する。
└└└└└Type	予報要素について“風”、“天気”、“視程”、“波”、“海水”のいずれかを記述する。 なお、/Head/InfoKindVersion=“1.0_0”又は“1.0_1”の場合は、“海水”の代わりに“流水”と記述する。
└└└└└└WindPart	WindPart の詳細を参照。
└└└└└└WeatherPart	WeatherPart の詳細を参照。
└└└└└└VisibilityPart	VisibilityPart の詳細を参照。
└└└└└└WaveHeightPart	WaveHeightPart の詳細を参照。
└└└└└└SealcePart	SealcePart の詳細を参照。
└└└Area	地方海上予報区を記述する。

└Name	“四国沖北部”のように概況の対象とする地方海上予報区名を記述する。
└Code	“4030”のように地方海上予報区名に対応する地方海上予報区コード番号を記述する。

WindPart の詳細

タグ	解説
WindPart	風に関する予報を記述する。
└SubArea	対象となる地方海上予報区または地方海上予報区内の特定海域(地域)に対する海上警報を記述する。
└AreaName	“国後水道”や“沿岸部”など地方海上予報区内の特定海域(地域)を指す名称を記述する。特定海域(地域)ではなく、地方海上予報区そのもの場合は要素を省略する。
└Sentence	“南西 30ノット(15メートル) 後 北西 65ノット(35メートル)”又は“南西 30ノット(15メートル) 10日15時まで 北西 65ノット(35メートル)”(/Control/Title=“地方海上予報(H28)”)の場合に限る。)のように地方海上予報の平文を記述する。
└Base	風の予報を記述する。風が変化する場合は、変化前の状態を記述する。
└jmx_eb:WindDirection	風向を“南西”のように記述する。
└@type	“風向”と記述する。
└@unit	“8方位漢字”と記述する。
└jmx_eb:WindSpeed	“65”、“35”のように風速を記述する。
└@type	“風速”と記述する。
└@unit	“ノット”、“m/s”のように単位を記述する。
└@description	“65ノット”、“35メートル”のように記述する。
└Becoming	風の予報で、風が変化する場合の変化後の状態を記述する。変化がない場合は要素を省略する。/Control/Title=“地方海上予報(H28)”の場合、最大2つまで表現し、予想する時刻に沿って記述する。

TimeModifier	/Control/Title="地方海上予報"の場合は"後"又は"今後24時間以内に"のように、 /Control/Title="地方海上予報(H28)"の場合は"後"又は"10日15時までに"のように、 予報の対象時間を語句として記述する。
jmx_eb:WindDirection	風向を"南西"のように記述する。
@type	"風向"と記述する。
@unit	"8方位漢字"と記述する。
jmx_eb:WindSpeed	"30"、"15"のように記述する。
@type	"風速"と記述する。
@unit	"ノット"、"m/s"のように単位を記述する。
@description	"30ノット"、"15メートル"のように記述する。
Remark	「突風に注意」など、付加事項を記述する。付加事項がない場合は要素を省略する。

WeatherPart の詳細

タグ	解説
WeatherPart	天気に関する予報を記述する。
└SubArea	対象となる地方海上予報区または地方海上予報区内の特定海域(地域)に対する海上警報を記述する。
└AreaName	“国後水道”や“沿岸部”など地方海上予報区内の特定海域(地域)を指す名称を記述する。特定海域(地域)ではなく、地方海上予報区そのものの場合は要素を省略する。
└Sentence	“曇時々雨 所により雷を伴い 所により霧”のように地方海上予報の平文を記述する。
└Base	天気の予報を記述する。天気に変化する場合は、変化前の状態を記述する。
└jmx_eb:Weather	卓越天気を“曇時々雨”のように記述する。
└@type	“天気”と記述する。
└Local	地域天気を記述する。地域天気がない場合は要素を省略する。
└Sentence	“所により雷を伴い 所により霧”のように地域天気を平文で記述する。
└@type	“地域天気”と記述する。
└Becoming	天気の予報で、天気に変化する場合の変化後の状態を記述する。変化がない場合は要素を省略する。
└TimeModifier	“後”のように予報の対象時間を記述する。
└jmx_eb:Weather	卓越天気を“晴時々曇”のように記述する。
└@type	“天気”と記述する。
└Local	地域天気を記述する。地域天気がない場合は要素を省略する。
└Sentence	“所により雷を伴い 所により霧”のように地域天気を平文で記述する。
└@type	“地域天気”と記述する。

VisibilityPart の詳細

タグ	解説
VisibilityPart	視程に関する予報を記述する。
└SubArea	対象となる地方海上予報区または地方海上予報区内の特定海域(地域)に対する海上警報を記述する。
└AreaName	“国後水道”や“沿岸部”など地方海上予報区内の特定海域(地域)を指す名称を記述する。特定海域(地域)ではなく、地方海上予報区そのものの場合は要素を省略する。
└Sentence	“10海里(20キロ) 後 3海里(6キロ)”又は“10海里(20キロ) 10日15時まで 3海里(6キロ)”(/Control/Title=“地方海上予報(H28)”)の場合に限る。)のように地方海上予報の平文を記述する。
└Base	視程の予報を記述する。視程が変化する場合は、変化前の状態を記述する。
└jmx_eb:Visibility	“10”、“20”のように視程を記述する。
└@type	“視程”と記述する。
└@unit	“海里”または“km”のように単位を記述する。
└@description	“10海里”、“20キロ”のように記述する。
└Local	地域的な視程を記述する。地域的な視程がない場合は要素を省略する。
└jmx_eb:Visibility	“0.3”、“0.5”のように記述する。
└@type	“視程”と記述する。
└@unit	“海里”または“km”のように単位を記述する。
└@condition	“以下”のように記述する。
└@description	“0. 3海里以下”、“0. 5キロ以下”のように記述する。

└Becoming	視程の予報で、視程が変化する場合は変化後の状態を記述する。変化がない場合は要素を省略する。/Control/Title="地方海上予報(H28)"の場合、最大2つまで表現し、予想する時刻に沿って記述する。
└TimeModifier	/Control/Title="地方海上予報"の場合は"後"又は"今後24時間以内に"のように、/Control/Title="地方海上予報(H28)"の場合は"後"又は"10日15時まで"のように、予報の対象時間を語句として記述する。
└jmx_eb:Visibility	"2"、"4"などのように記述する。
└@type	"視程"と記述する。
└@unit	"km"または"海里"のように単位を記述する。
└@description	"2海里"、"4キロ"のように記述する。
└Local	地域的な視程を記述する。地域的な視程がない場合は要素を省略する。
└jmx_eb:Visibility	"0.3"、"0.5"などのように記述する。
└@type	"視程"と記述する。
└@unit	"海里"または"km"のように単位を記述する。
└@condition	"以下"のように記述する。
└@description	"0.3海里以下"、"0.5キロ以下"のように記述する。

WaveHeightPart の詳細

タグ	解説
WaveHeightPart	波に関する予報を記述する。
└SubArea	対象となる地方海上予報区または地方海上予報区内の特定海域(地域)に対する海上警報を記述する。
└AreaName	“国後水道”や“沿岸部”など地方海上予報区内の特定海域(地域)を指す名称を記述する。特定海域(地域)ではなく、地方海上予報区そのものの場合は要素を省略する。
└Sentence	“4メートル 後 3メートル”又は“4メートル 10日15時までに 3メートル”(/Control/Title="地方海上予報(H28)" の場合に限る。)のように地方海上予報の平文を記述する。海氷で覆われ予報ができない場合は“海氷のため予報なし”と記述する。
└Base	波の予報を記述する。波が変化する場合は、変化前の状態を記述する。
└jmx_eb:WaveHeight	“6”のように記述する。海氷で覆われ予報ができない場合は値を記述しない(「空タグ」とする)。
└@type	“波高”と記述する。
└@unit	単位を“m”と記述する。
└@condition	通常は属性を省略する。海氷で覆われ予報ができない場合は“予報なし”と記述する。
└@description	“6メートル”のように記述する。海氷で覆われ予報ができない場合は“海氷のため予報なし”と記述する。
└Becoming	波の予報で、波が変化する場合の変化後の状態を記述する。変化がない場合や、海氷で覆われ予報ができない場合は要素を省略する。 /Control/Title="地方海上予報(H28)" の場合、最大2つまで表現し、予想する時刻に沿って記述する。

└TimeModifier	/Control/Title="地方海上予報"の場合は"後"又は"今後24時間以内に"のように、 /Control/Title="地方海上予報(H28)"の場合は"後"又は"10日15時までに"のように、 予報の対象時間を語句として記述する。
└jmx_eb:WaveHeight	"4"のように記述する。
└@type	"波高"と記述する。
└@unit	単位を"m"と記述する。
└@description	"4メートル"のように記述する。

SeaIcePart の詳細

タグ	解説
SeaIcePart	主に海氷が発生する冬期に、海氷に関する予報を記述する。予報を行わないときは要素を省略する。
└SubArea	対象となる地方海上予報区に対する海上警報を記述する。
└Sentence	“海氷が発生する”のように地方海上予報の平文を記述する。(※)
└Base	海氷の予報を記述する。
└jmx_eb:SeaIce	“あり”、“なし”、“発生”、“消滅”のいずれかを記述する。
└@type	“海氷”と記述する。(※)
└@description	“海氷あり”、“海氷なし”、“海氷が発生する”、“海氷が消滅する”のいずれかを記述する。(※)

※/Head/InfoKindVersion= “1.0_0” 又は “1.0_1” の場合は「海氷」の代わりに「流氷」の語句を用いる。

例 /MeteorologicalInfos@type = “観測実況”の例

例	解説
<pre> <Item> <Kind> <Condition>通常</Condition> <Property> <Type>風</Type> <WindDirectionPart> <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit="1 6 方位漢字">南西</jmx_eb:WindDirection> </WindDirectionPart> <WindSpeedPart> <jmx_eb:WindSpeed type="風速" unit="ノット" description="5 ノット">5</jmx_eb:WindSpeed> </WindSpeedPart> </Property> <Property> <Type>天気</Type> <WeatherPart> <jmx_eb:Weather type="天気">快晴</jmx_eb:Weather> </WeatherPart> </Property> <Property> <Type>気圧</Type> <PressurePart> <jmx_eb:Pressure type="気圧" unit="hPa" description="1 0 2 4 ヘクトパスカル">1024</jmx_eb:Pressure> </PressurePart> </Property> <Property> <Type>気温</Type> <TemperaturePart> <jmx_eb:Temperature type="気温" unit="度" description="マイナス 1 2 度">-12</jmx_eb:Temperature> </TemperaturePart> </Property> </Property> </Item> </pre>	<p>通常の観測実況の記述例。</p> <p>風向・風速。</p> <p>天気。</p> <p>気圧。</p> <p>気温。</p>

<pre> <Type>視程</Type> <VisibilityPart> <jmx_eb:Visibility type="視程" unit="海里" description="10海里">10</jmx_eb:Visibility> </VisibilityPart> </Property> </Kind> <Station> <Name>網走</Name> <Code>47409</Code> </Station> </Item> <Item> <Kind> <Condition>欠測あり</Condition> <Property> . . . </Property> </Kind> <Station> <Name>留萌</Name> <Code>47406</Code> </Station> </Item> <Type>風</Type> <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit="16方位漢字" condition="不明" description="風向不明"/> <jmx_eb:WindSpeed type="風速" unit="ノット" condition="不明" description="風速不明"/> <Type>天気</Type> <jmx_eb:Weather type="天気" condition="不明" description="天気不明"/> <Type>気圧</Type> <jmx_eb:Pressure type="気圧" unit="hPa" condition="不明" description="気圧不明"/> </pre>	<p>視程。</p> <p>観測地点。</p> <p>一部の要素に欠測がある場合の例。 要素毎の欠測記述例は別途記載。</p> <p>観測地点。</p> <p>風向・風速の欠測例。 風向の欠測例。 風速の欠測例。</p> <p>天気の欠測例。</p> <p>気圧の欠測例。</p>
---	--

<pre> <Type>気温</Type> <jmx_eb:Temperature type="気温" unit="度" condition="不明" description="気温不明"/> <Type>視程</Type> <jmx_eb:Visibility type="視程" unit="km" condition="不明" description="視程不明"/> <Item> <Kind> <Condition>入電なし</Condition> </Kind> <Station> <Name>寿都</Name> <Code>47421</Code> </Station> </Item> </pre>	<p>気温の欠測例。</p> <p>視程の欠測例。</p> <p>観測実況が入電なしの例。</p> <p>観測地点。</p> <p>※入電無しときは、各要素は省略する。</p>
--	--

例 WindPart の例 (/Control/Title="地方海上予報"の場合)

例	解説
<pre> <WindPart> <SubArea> <Sentence>南西 20ノット(10メートル) 後 南西又は北西 25ノット(13メートル) </Sentence> <Base> <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit="8方位漢字">南西</jmx_eb:WindDirection> <jmx_eb:WindSpeed type="風速" unit="ノット" description="20ノット">20</jmx_eb:WindSpeed> <jmx_eb:WindSpeed type="風速" unit="m/s" description="10メートル">10</jmx_eb:WindSpeed> </Base> <Becoming> <TimeModifier>後</TimeModifier> <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit="8方位漢字">南西</jmx_eb:WindDirection> <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit="8方位漢字">北西</jmx_eb:WindDirection> <jmx_eb:WindSpeed type="風速" unit="ノット" description="25ノット">25</jmx_eb:WindSpeed> <jmx_eb:WindSpeed type="風速" unit="m/s" description="13メートル">13</jmx_eb:WindSpeed> </Becoming> </SubArea> </WindPart> </pre>	<p>平文で記述。</p> <p>風向は1ないし2つ記述。 風速は単位を変えて記述。 風速は1ないし2組記述。ただし、2組とは、同じ単位でまとめた風速を1組とし、2組記述。</p> <p>変化後の予想がある場合に記述(無ければ省略)。</p>

例 WindPart の例 (/Control/Title="地方海上予報 (H28)" の場合)

例	解説
<pre> <WindPart> <SubArea> <Sentence>南西 20ノット(10メートル) 10日21時までに 南西又は北西 30ノット(15メートル) 1 1日15時までに 北 55ノット(30メートル) 突風に注意</Sentence> <Base> <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit="8方位漢字">南西</jmx_eb:WindDirection> <jmx_eb:WindSpeed type="風速" unit="ノット" description="20ノット">20</jmx_eb:WindSpeed> <jmx_eb:WindSpeed type="風速" unit="m/s" description="10メートル">10</jmx_eb:WindSpeed> </Base> <Becoming> <TimeModifier>10日21時までに</TimeModifier> <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit="8方位漢字">南西</jmx_eb:WindDirection> <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit="8方位漢字">北西</jmx_eb:WindDirection> <jmx_eb:WindSpeed type="風速" unit="ノット" description="30ノット">30</jmx_eb:WindSpeed> <jmx_eb:WindSpeed type="風速" unit="m/s" description="15メートル">15</jmx_eb:WindSpeed> </Becoming> <Becoming> <TimeModifier>11日15時までに</TimeModifier> <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit="8方位漢字">北</jmx_eb:WindDirection> <jmx_eb:WindSpeed type="風速" unit="ノット" description="55ノット">55</jmx_eb:WindSpeed> <jmx_eb:WindSpeed type="風速" unit="m/s" description="30メートル">30</jmx_eb:WindSpeed> </Becoming> <Remark>突風に注意</Remark> </SubArea> </WindPart> </pre>	<p>平文で記述。</p> <p>風向は1ないし2つ記述。 風速は単位を変えて記述。 風速は1ないし2組記述。ただし、2組とは、同じ単位でまとめた風速を1組とし、2組記述。 変化後の予想がある場合に最大2組まで記述（無ければ省略）。</p> <p>最大2つまで表現し、予想する時刻に沿って記述する。</p> <p>必要時、付加事項を記述。</p>

例 WeatherPart の例

例	解説
<pre> <WeatherPart> <SubArea> <Sentence>晴時々曇 所により一時雨 後 晴</Sentence> <Base> <jmx_eb:Weather type="天気">晴時々曇</jmx_eb:Weather> <Local> <Sentence type="地域天気">所により一時雨</Sentence> </Local> </Base> <Becoming> <TimeModifier>後</TimeModifier> <jmx_eb:Weather type="天気">晴</jmx_eb:Weather> </Becoming> </SubArea> </WeatherPart> </pre>	<p>平文で記述。</p> <p>卓越の天気を記述。</p> <p>地域的な天気を記述（必要時）。</p> <p>変化後の予想天気がある場合記述（無ければ省略）。</p>

例 VisibilityPart の例

例	解説
<pre> <VisibilityPart> <SubArea> <Sentence>1から3海里（2から6キロ） 所により0.3海里（0.5キロ）以下</Sentence> <Base> <jmx_eb:Visibility type="視程" unit="海里" description="1海里">1</jmx_eb:Visibility> <jmx_eb:Visibility type="視程" unit="海里" description="3海里">3</jmx_eb:Visibility> <jmx_eb:Visibility type="視程" unit="km" description="2キロ">2</jmx_eb:Visibility> <jmx_eb:Visibility type="視程" unit="km" description="6キロ">6</jmx_eb:Visibility> <Local> <jmx_eb:Visibility type="視程" unit="海里" condition="以下" description="0.3海里以下">0.3</jmx_eb:Visibility> <jmx_eb:Visibility type="視程" unit="km" condition="以下" description="0.5キロ以下">0.5</jmx_eb:Visibility> </Local> </Base> </SubArea> </VisibilityPart> </pre>	<p>平文で記述。</p> <p>卓越の視程は単位を変えて記述。また1ないし2組記述。</p> <p>地域的な視程は単位を変えて記述(必要時)。</p> <p>変化後の予想視程がない場合は省略(ある場合 Becoming 以下を記述)。</p>

例 WaveHeightPart の例 (/Control/Title="地方海上予報"の場合)

例	解説
<pre> <WaveHeightPart> <SubArea> <Sentence>4メートル 後 6メートル</Sentence> <Base> <jmx_eb:WaveHeight type="波高" unit="m" description="4メートル">4</jmx_eb:WaveHeight> </Base> <Becoming> <TimeModifier>後</TimeModifier> <jmx_eb:WaveHeight type="波高" unit="m" description="6メートル">6</jmx_eb:WaveHeight> </Becoming> </SubArea> </WaveHeightPart> </pre>	<p>平文で記述。</p> <p>波高を記述。</p> <p>変化後の予想がある場合に記述(無ければ省略)。</p>

例 WaveHeightPart の例 (/Control/Title="地方海上予報 (H28)" の場合)

例	解説
<pre> <WaveHeightPart> <SubArea> <Sentence>1. 5メートル 10日21時まで 4メートル 11日15時まで 6メートル</Sentence> <Base> <jmx_eb:WaveHeight type="波高" unit="m" description="1. 5メートル">1.5</jmx_eb:WaveHeight> </Base> <Becoming> <TimeModifier>10日21時まで</TimeModifier> <jmx_eb:WaveHeight type="波高" unit="m" description="4メートル">4</jmx_eb:WaveHeight> </Becoming> <Becoming> <TimeModifier>11日15時まで</TimeModifier> <jmx_eb:WaveHeight type="波高" unit="m" description="6メートル">6</jmx_eb:WaveHeight> </Becoming> </SubArea> </WaveHeightPart> </pre>	<p>平文で記述。</p> <p>波高を記述。</p> <p>変化後の予想がある場合に最大2組まで記述（無ければ省略）。</p> <p>最大2つまで表現し、予想する時刻に沿って記述する。</p>

例 SeaIcePart の例

例	解説
<pre> <SeaIcePart> <SubArea> <Sentence>海氷あり</Sentence> <Base> <jmx_eb:SeaIce type="海氷" description="海氷あり">あり</jmx_eb:SeaIce> </Base> </SubArea> </SeaIcePart> </pre>	<p>平文で記述。</p> <p>海氷の状態（予想）を記述。</p> <p>※/Head/InfoKindVersion= “1.0_0” 又は “1.0_1” の場合は「流水」、 “1.0_2” 以降は「海氷」の語句を用 いる。</p>